

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンカレッジ・スクール		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者世帯数)	13	(回答者世帯数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		～ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1か月単位で、支援の活動プログラムを作成し、様々なプログラムに取り組んでいる。	運動療育、ビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング等、様々なプログラムに取り組めるよう、アイデアを出し合い決めている。	様々なプログラム内容について、様々なツールを使いアイデアを集めて支援に活かしていく。
2	個々の発達状況に応じた環境設定を行い、支援に努めている。	日々のミーティングや、ケース会議等で利用児の様子を共有しながら、どのように支援していくかを職員間で考えている。	各児童の様子を把握し、どのように支援したらさらなる成長に繋げていけるかを考えていく。
3	保護者の理解が得られている。	普段からコミュニケーションをとることを心がけ、関係構築に努めている。	保護者会などを企画し、保護者同士の交流や職員との関わりを深めていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会など、保護者同士の交流の機会がない。	この数年間、感染症の感染拡大の懸念があった。	保護者同士も交流できるような機会を計画していく。
2	個別指導できる部屋が限られている。	学習室はあるもののふすまで仕切られているため、自由に入り過ぎてしまったり、声や音などがお互いに聞こえてしまう。	部屋については構造上仕方がない。学習室を個別に使用している時は出入りを控えられるように、その他の利用児がわかるような印を作成するなどの工夫が必要。
3	地域に開かれた事業運営を、取り組めていない。	土日閉所していることもあり、地域交流の機会が持ちづらい。	普段戶外活動で使用している公園のごみ拾いなど、利用児と一緒にできる地域貢献も考えて実施していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 利用児童 世帯数						2025年 3月 3日	132025年1月22日～2月14日	回収数 9
事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンカレッジ・スクール								
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	2						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9							
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9							
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1	1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8				1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1	1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		1	1		長期休み期間に、関連施設（学童保育）と交流する機会を設けています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8				1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8				1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1			1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8				1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	2	1	5		・利用回数が少ないため、私自身がイベントを把握していないのかもしれない。	来年度は保護者会等、開催したいと考えています。	
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8			1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9							
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9								
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		1	1			・職員研修の中で、各項目について年1回以上の訓練を実施しています。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		1			月1回、曜日を変えて避難訓練を実施しています。（利用児が年2回参加できるようにしています。）	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	1			
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1	2		・発生等が無いため分かりません。	
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	7				2			
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	2			2		通所を楽しみにできるよう、プログラム内容の充実、工夫が努めています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	7				2			